

令和6年6月4日

報道関係 各位

ひたちなか海浜鉄道株式会社

令和5年度（第16期）決算について（お知らせ）

標記の件について、下記のとおり決算が確定しましたのでお知らせいたします。

記

1. 決算概要

- 輸送人員…116万8,244人（開業以来過去最多）
- 旅客運輸収入…1億8,661万円（前年度比8.3%の増、令和元年度の92.4%）
- 単年度収支…△713万円（前年度△1,399万円からの大幅改善）

令和5年度については、輸送人員、営業収入ともにコロナ禍前の水準には至らないものの、定期外旅客の伸びにより回復基調で推移しており、黒字化に向けての足掛かりとなる1年となりました。

輸送人員については、通勤定期は、前年度に比べ0.8%減の17万332人、通学定期は、前年度に比べ0.3%減の59万9,172人となり、定期旅客全体では、前年度に比べ0.4%減の76万9,504人とほぼ横ばいになりました。

定期外旅客については、新型コロナウイルスの感染症法の位置づけが5類に変更されたこと等により、国営ひたち海浜公園やおさかな市場等への観光需要に回復が見られ、前年度に比べ15.9%増の39万8,740人となりました。

この結果、定期、定期外を合わせた年間輸送人員は、前年度に比べ4.6%増の116万8,244人となり、開業以来過去最多となりましたが、美乃浜学園の通学輸送（年間約27万人）を除くと、コロナ前で過去最多であった令和元年度の輸送人員の84.6%となりました。

旅客運輸収入については、定期外利用客の回復傾向により、前年度に比べ8.3%増の1億8,661万856円となり、令和元年度の92.4%まで回復しました。運輸雑収を含む営業収益全体では、前年度に比べ約813万円増の2億4,998万3,918円（令和元年度比2,258万円減、91.7%）となりました。

営業費については、給料引き上げ及び人員増に伴う人件費の増（約611万円増）、内燃動力費及び乗車券帳票類の増、観光コンテンツ事業委託による広告宣伝費の増などがありましたが、車両検査費及び臨時的な車両修繕件数の減少による修繕費の減、イベント委託事業費の見直し等による雑費の減などにより、営業費全体では、前年度に比べ1,051万円減の3億632万4,085円となりました。

この結果、営業損益は、△5,634万167円、営業外損益を含む経常損益は、△5,544万9,828円となり、国、県、市からの補助金収入を差し引いた税引き後の当期純損益は、△713万円4,764円となり、前年に引き続き赤字を計上しました。

なお、取締役3名のうち1名が任期満了により退任して1名が新任となり、代表取締役を含む2名の取締役は重任となりました。また、監査役1名が任期満了により退任して1名が新任となりました。

2. 輸送人員

(単位：人)

	定期旅客			定期外旅客	合 計
	通勤定期	通学定期	定期計		
令和4年度	171,674	600,780	772,454	343,896	1,116,350
令和5年度	170,332	599,172	769,504	398,740	1,168,244
対前年度比	99.2%	99.7%	99.6%	115.9%	104.6%

3. 営業収益

(単位：千円)

	定期旅客			定期外 旅客	旅客運輸 収入合計	運輸雑収	営業収益 合 計
	通勤定期	通学定期	定期計				
令和4年度	28,715	47,394	76,109	96,232	172,342	69,517	241,858
令和5年度	27,807	47,961	75,768	110,843	186,611	63,373	249,984
対前年度比	96.8%	101.2%	99.6%	115.2%	108.3%	91.2%	103.4%

4. 収 支

(単位：千円)

科 目	令和5年度	令和4年度	増減
営業収益	249,984	241,858	8,126
営業費	306,324	316,831	△10,507
営業損益	△56,340	△74,972	18,632
営業外収益	1,214	2,606	△1,392
営業外費用	324	484	△160
経常損益	△55,450	△72,850	17,400
特別利益	119,300	188,384	△69,084
特別損失	70,650	129,189	△58,539
税引前当期純損益	△67,800	△13,655	6,855
法人税、住民税及び事業税	335	335	0
当期純損益	△7,135	△13,990	6,855

お問い合わせ先 … ひたちなか海浜鉄道 吉田、坂本、大重
☎029-262-2361